

●昨年のご報告（感謝） ●ハーベスト・タイム



新年のご挨拶が遅くなりましたことをどうぞお許してください。
皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

1月10日、無事ハンブルクに戻りました。

今回は、何と4人もの教会員が空港で私を待っていてくれました。

私が帰独の2日前にドイツにメールを送り、そこに到着時間も書いていたので、4人がそれぞれ知らずに
出迎えに来てくれたのです。おかげで私はこの人たちにすぐに日本の報告をすることができましたし、彼
らもこれまでの教会の状況等を説明してくれ、その後は5人の霊的な交わり会になりました。ドイツに到着
した瞬間に、しばらく持つことができなかつた教会の兄弟姉妹との交わりという素晴らしいプレゼントをい
ただきました。

●昨年のご報告（感謝）

12月23日、24日、浜松での昨年最後のクリスマス・コンサートも主が祝福してくださいました。

けれども、終わった瞬間、私は心身共に電池切れ、放心状態になりました。最後のコンサートまですべて
が守られたのは、主の御力以外のなにものでもなかつたと思いました。その後、世界各国の友人から、特
に、12月23日、24日のコンサートのために祈っていましたというメールやお便りをいただき、多くの皆さ
んの祈りの支えが背後にあったことを知りました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

昨秋の賛美コンサートでは、例年にも増して主がたくさんの方々を救いに導いてくださいました。その方た
ちが主に固く結ばれ、主の弟子と造りかえられてゆきますよう引き続きお祈りください。

●ハーベスト・タイム

昨秋、レビ記 23 章のイスラエルの七つ祭りの箇所から大きく目を開かれたことを、メルマガ59号に書か
せていただきましたが、あれ以来、このことは、私の主を宣べ伝える者としての生き方を大きく変えました。
あの時の内容の要約を今一度書かせて下さい。

1. 7つの祭りのうち、4つは春の祭り、3つは秋の祭りで、春の4つの祭りはキリストの初臨を表わし、秋の4つの祭りは、キリストの再臨を現していること。

2. 春と秋の祭りの間には4ヶ月あるが、この4ヶ月を、イエス様はこう語られたこと。

「あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ4ヶ月ある。』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」(ヨハネ 4:35)

つまり、イエス様が来られて後、再臨を待つ今の時代は、刈り入れの時、すなわち、「ハーベストタイム」である、ということです。このような時であれば私もなおさら身をひきしめ、主に堅くつながる必要があります。そして私はキリストの苦しみの意味と十字架の救いをお伝えしたいという願いと祈りをもって、昨秋の賛美活動をさせていただきました。

日本でも、たくさんの台風被害と新潟地震、そして年末には世界を震撼させたスマトラ沖地震が起きました。主の再臨が近い今、神はこのような災害を通して、警告の叫びを発しておられます。時は縮まっています。

AKMMも、賛美を通して、主の救いをお伝えするために励んでまいりますので、これからもお祈り、お支えください。ひとりでも多くの方々が永遠の救いへ導かれ、主の守り、そして祝福を得ることができますように。

●お祈りください

1. ドイツ滞在中、主との交わりの時が祝福されますように

今、ドイツでの税金申告に追われている毎日ですが、そのような中にも、主との交わりの時が守られ、霊的糧を得ることができますように。

2. 3月19日～29日のイタリア旅行が祝福されますように

今のところ、18人の参加者が与えられています。その内の半数がノン・クリスチャンです。よき伝道のチャンスとなりますようお祈りください。

また2週間後にこちらの状況を報告させていただきますね。

皆様にとって、2005年が、主の平安と喜びに満ちた一年でありますようにと心よりお祈り申し上げます。

それでは、シャローム！

工藤篤子